

# 学部長インタビュー

## 小林直樹先生



▲学部長 小林直樹先生

まず初めに、大阪市立大学文学部（以下、市大文学部）の魅力・特徴を教えてください。

まずは、多様な学問分野がそろっていることです。文学部では、人間や、人間が生み出した言語や文化、社会や歴史などを研究対象としていますが、学問分野が多いほど、それだけ多くの対象に、さまざまなアプローチで迫ることが可能になります。市大文学部は、古くからある基礎的な学問分野から、時代的に新しい応用的、学際的な性格の分野まで幅広くカバーできているのが特色であり、魅力でもあります。

また、少人数教育で教員と学生の距離が近いのも、逸することのできない特色です。教員と親しくコミュニケーションが取れる環境は、大学での学びを深めるための大きなメリットであるといえます。

市大文学部ではどのような力に身をつくでしょうか。そして、学ぶことのできる内容や、文学部で学ぶ意義とはどこなところでしょうか。

文学部で学ぶことの意義は、さきほど話題にしたそれぞれの学問分野にそなわっている、研究対象に即した方法論や研究手法を身につけることにあると考えています。その方法を実践する機会が卒業論文であり、それゆえ市大文学部では卒業論文を学生生活の総決算として最重要視しています。

自分が関心をもったあるテーマを論証するためには、多くの先行研究を十分に読み込み、調査や実験を通じてこつこつデータを積み、仮説と検証を繰り返しながら、粘り強く考察を進めた上で、それを他人にわかるように筋道立てて説明することが求められます。論文を書くためには、いったん読み手の立場に身を置いて、その視点に立って自身の考察過程を客観的に

かつ批判的に辿り返す必要が生じます。またそれに先立って、先行研究を読む際にも、論者への批判的な視点だけではなく、論者の立場を理解しようとする姿勢が不可欠です。たとえ論者の立場が自分とは異なっているとしても、ひとまずはその考えを受け止め、理解しようとする柔軟な姿勢です。

こうした卒論制作の幾重ものハードルを越えていく中で、誰もが自明と信じていることを疑う批判的な思考力と、同時に他者への理解力とが育まれていくのだと思います。この批判的な思考力と他者への理解力が、現在、社会からも強く求められている能力であることはいままでもありません。

さらにいえば、それぞれの学問分野の方法論を学び、人間や文化や社会の根源を見据える本物の学問の世界を経験した後では、何が本物で何が偽物なのかを判断できる、物事の真偽を見抜く力をも身につけることができるのではないかと考えています。

文学部で身につけられるのは、トータルな人間力だといってもよいかもしれません。

今後の市大文学部はどのようなことを目指しますか。

ご存じのように、二〇二二年四月に大阪市立大学は大阪府立大学と統合し、大阪公立大学という新大学に生まれ変わることが決定しています。しかし、文学部に限って言えば、統合に先立って改革を行ったため、新大学になっても現在の組織体制は変わりません。その意味では、市大文学部は、実質的には将来にわたり存続していくともいえるのです。

すでに触れたように、文学部の学びで身につくのは、人間に与った根源的な力です。一度身についたら失われることはありませんし、実はそれこそが社会や人生のさまざまな局面でほんとうに役立つものなのです。今年に入って新型コロナウイルスの流行により、世界を取り巻く状況は劇的に変わりました。コロナ後の世界を、これまでの価値観の延長上に捉えることは、もはや困難でしょう。しかしながら、時間的に遡及したり、空間的に越境したりすることを通して、異なる価値観をもつ他者を見つめ、対話を交わすことを常とする文学部の学問が、そうした状況に対応し、新しい価値観の創成に寄与しうるものであることは間違いないと思います。近い将来、文学部の存在がますます重要性を増す時代がやってくるものと確信しています。

最後に、市大文学部を目指す方や、市大文学部に興味を持ってこの冊子を手にとってくださった方へメッセージをお願いします。

人生は一度しかありません。ならば文学部でこの上なく豊かで面白い学生時代を過ごしてみませんか。知的好奇心にあふれたみなさんを心からお待ちしています。

お待ちしております。



目次
p2 .....学部長インタビュー
p3 .....カリキュラム&組織図
p4 .....コース選択制度&体験談
p5~p7 .....哲学歴史学科
p8~p11.....人間行動学科
p12~p16...言語文化学科
p17~p19...文化構想学科
p20~p21...留学体験談
p22 .....卒業生インタビュー
p23 .....資格体験談
p24 .....学生生活インタビュー
p25 .....時間割例&受験体験談
p26 .....学部生アンケート
p27 .....支援機構紹介